

薬物「手出さないで」
新入生に千種署啓発

愛院大短大部でセミナー

愛知学院大短期大学部歯科衛生学科の新入生に向けた防犯セミナーが2日、千種区の同大楠元キャンパスであり、100人が薬物や闇バイトの危険性を学んだ。

成人年齢が引き下げられ



千種署生活安全課員左の話を聞く学生ら＝千種区の愛知学院大短期大楠元キャンパスで

たことなどを受け、3日の入学式を前に大学側が初めて企画。新入生のほとんどは18歳で、大人としての自覚を高めてもらおう狙いがあるという。

2日は千種署生活安全課員が講師となり、映像も交えて薬物乱用者がたどる悲惨な道のりを説明。市販薬の過剰摂取も同様に危険であるとしつつ、「どの薬物も依存性があるのは変わらない。怪しい物には手を出さないで」と呼びかけた。

県警のスマートフォン用アプリ「アイチポリス」の防犯ブザー機能も紹介し、痴漢対策も促した。

瀬辺えみなさん(18)は「麻薬を摂取した時のリアルな反応を見て気を付けたと思った。電車の痴漢対策としてアプリも入れて、自分の身は自分で守りたい」と話していた。